

授業科目 疫学

【担当教員名】 遠藤 和男		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 <概要> 地域看護学またその実践である地域保健活動にとって、「疫学」はいわば原理と方法論であり、一方いわゆる保助看法での「公衆衛生の普及向上」とは、実践である。地域看護学は応用編であり、その前に基礎となる疫学及び公衆衛生学を学習することになる。 <一般目標：G10> 地域看護学の基礎となる、疫学の原理や方法論、公衆衛生学での実践について理解する。					
【行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 疫学及び公衆衛生学の定義を説明できる。 2. 疫学研究で用いられる指標を列挙できる。 3. ライフステージ毎に特有な健康問題を指摘できる。 4. 主要な疾病について宿主要因と環境要因とを区別できる。 5. 疾病それぞれの予防方法について実践したり援助できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	疫学及び公衆衛生学の定義と歴史について学ぶ。			1	講義
2	日本の人口構成の変化と人口動態統計について学ぶ。			1,2	講義＋小テスト
3	地域保健で用いる指標：罹患率などについて学ぶ。			2	講義
4	衛生行政：保健所と市町村の役割分担について学ぶ。			1	講義＋小テスト
5	環境保健1：生物的な環境要因について学ぶ。			3-5	講義
6	環境保健2：物理、化学的な環境要因について学ぶ。			3-5	講義＋小テスト
7	環境保健3：社会・経済的環境要因について学ぶ。			3-5	講義
8	公害事例についてレポートを提出する。			3-5	レポート提出
9	成人保健1：AIDSなどの感染症について学ぶ。			3-5	講義＋小テスト
10	成人保健2：がんの原因と予防策について学ぶ。			3-5	講義
11	成人保健3：循環器疾患等について学ぶ。			3-5	講義＋小テスト
12	高齢者の保健対策、介護保険について学ぶ。			3-5	講義
13	母子保健及び学校保健について学ぶ。			3-5	講義＋小テスト
14	産業保健、労働衛生について学ぶ。			3-5	講義
15	まとめ（国家試験問題の検討）			1-5	演習＋小テスト
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		シンプル衛生公衆衛生学	鈴木庄亮、久道 茂	南江堂	2012・2,400円＋税
参考書					
その他の資料		サヴノートとして書き込める資料を毎回配布する。			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 隔回4問の小テストは解説するものの、評価対象とはしない。 ・ 出席点、公害のレポート、国家試験形式の試験結果を総合的に評価する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年次の「保健統計学」と多少重複する事項があるものの、重要な場合はあえて重複して教えるものとする。 		